東京学芸

035

〔　A類現代教育実践コース学校心理プログラム 対象 〕

学校推薦型選抜　問題　令和７年度

小　論　文

下の図 1，2 は，2022 年 10 月に全国の小学 1 年生～6 年生の子どもがいる世帯の保護者 2,097 人を対象に行われた「子どもたちの体験活動」に関する調査の結果の一部である。これらを踏まえ，下の問1，2 に答えよ。

なお，「体験」とは「学校以外の時間での体験」のことであり，その活動には，定期的に参加していたもの（スポーツ・運動，文化芸術活動の習い事など）と単発で体験したもの（自然体験，社会体験，文化的体験など）の両方が含まれる。

問 1. 図 1 のグラフからわかることを述べた上で，そのような結果となった主な理由として，図 2 のグラフからどのようなことが考えられるかを述べよ（200 字以内，句読点等を含む）。

問 2. 学校外での体験の違いが子どもの将来にどのような影響を与えるかについて論じた上で，それに対し教師ができることについて，あなたの考えを述べよ（800 字以内，句読点等を含む）。

図 1. 保護者の世帯年収ごとにみた，学校外の体験がない子どもの割合（直近 1 年間）

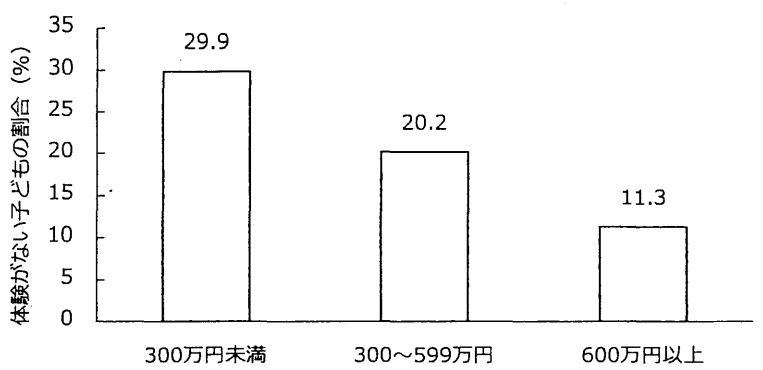
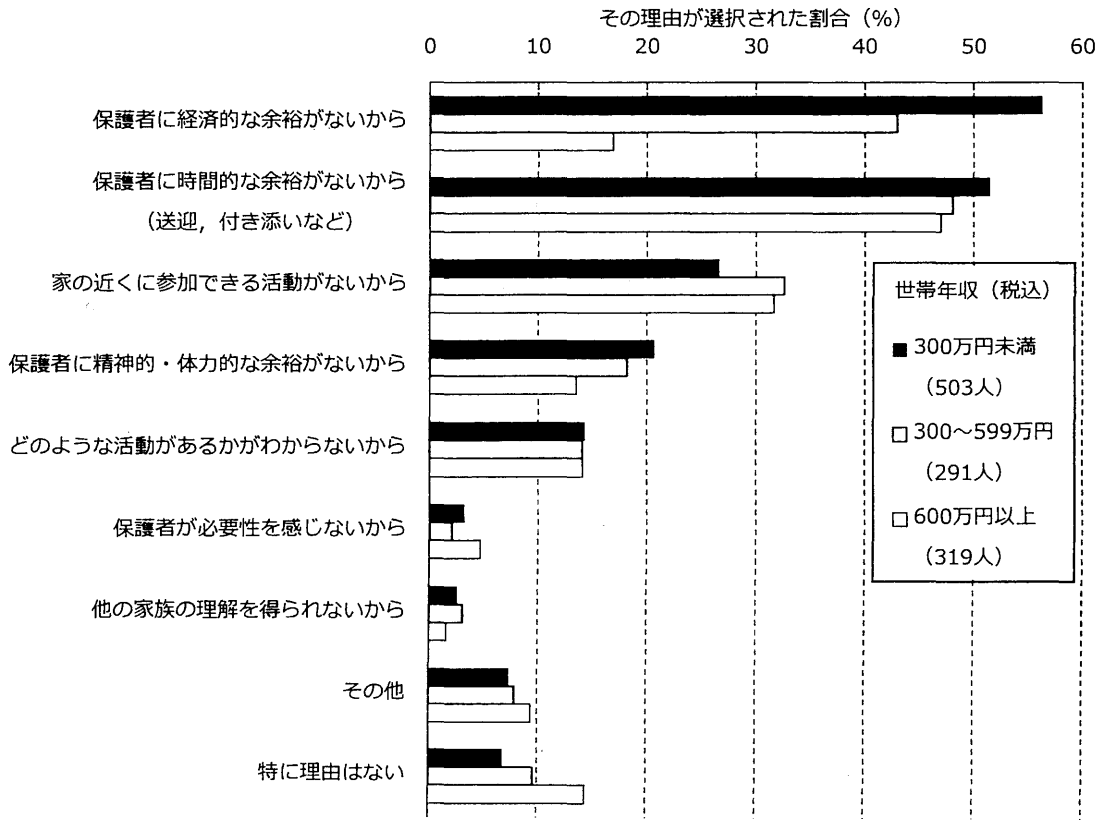


図 2. 保護者の世帯年収ごとにみた，子どもがやってみたいと思う学校外の体験をさせてあげられなかった理由の割合



※該当する経験のある保護者 1,113 人に対し，その理由をグラフ左側に示した項目から複数選択で回答してもらった結果

【出典】「子どもの「体験格差」実態調査最終報告書 ～全国の小学生保護者 2,097 人へのアンケート調査～」（公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン　2023 年 7 月発行 ）をもとに作成。